ASUS MeMO Pad
ユーザーマニュアル

ASUSは環境に優しい製品・パッケージ作りに取り組んでおり、環境に及ぼす影響を最小限に抑えると同時に、消費者の安全と健康への配慮を行っております。二酸化炭素の排出量削減のため、ユーザーマニュアルのページ数を削減しました。
ユーザーマニュアル完全版および関連情報は、本機に収録のユーザーマニュアル、またはASUSのサポートサイトをご参照ください。
http://support.asus.com/
http://www.asus.co.jp（日本語）

BC

J7685
2013年4月

Copyrightについて

責任制限

この責任制限はASUSの、或は他の責任の不履行により、ユーザーがASUSから損害賠償を受ける権利が生じた場合に発生します。

このようなケースが発生した場合は、ユーザーのASUSに損害賠償を請求する権利の有無にかかわらず、ASUSは肉体的損害（死亡したケースを含む）と不動産及び有形動産への損害のみに賠償責任を負います。或は、それぞれの製品の記載された協定価格を限度とし、「Warranty Statement」のもとに生じる法的義務の不作為または不履行に起因するいかなる実害と直接的な被害のみに対して賠償責任を負います。

ASUSは「Warranty Statement」に基づき、不法行為または侵害行為が発生した場合と、契約に基づく損失や損害が生じた場合及びその主張に対してのみ賠償し、責任を負います。

この責任制限は、ASUSの供給者または販売代理店にも適用されます。賠償の際は、ASUSとその供給者及び購入した販売代理店を一集合体としてその限度額を定めており、その限度額に応じた賠償が行われます。

以下のケースに対しては、ASUSとその供給者及び販売代理店がその可能性を指摘されている場合においても、ASUSはいかなる賠償及び保証を行いません。

(1) ユーザーが第三者から請求されている申し立て
(2) ユーザーの個人情報やデータの損失
(3) 特殊、偶発的、或は間接的な損害、または 貯蓄や諸利益を含むあらゆる結果的な経済的損害

サービスとサポート

マルチ言語サポートサイトを開設しました。下のリンクで画面右上の「Global/English」を「Japan/日本語」に選択してください。
http://support.asus.com

もくじ

Chapter 4: プリインストール済みのアプリ

Chapter 5: 付録

本マニュアルについて

このマニュアルには本機のハードウェアとソフトウェアについての説明が記載されており、以下のChapterから構成されています。

Chapter 1：ハードウェアのセットアップ

本機のハードウェアとコンポーネントについての説明が記載されています。

Chapter 2: MeMO Padを使用する

本機の使用方法についての説明が記載されています。

Chapter 3: Android®環境で使用する

本機でのAndroid®の使用方法についての説明が記載されています。

Chapter 4: プリインストール済みのアプリ

本機にプリインストールされたアプリについての説明が記載されています。

Chapter 5：付録

製品の規格や海外の法令についての説明が記載されています。

このマニュアルの表記について

本製品を正しくお取り扱いいただくため、以下の表記をご参照ください。

重要：作業を完了するために従わなければならない事項です。

注：作業を完了するためのヒント等の追加情報です。

警告：作業を行う際、人体への危険を避けるため、または本機のコンポーネントへの損害、本機内のデータの消失を避けるために、必ず従わなければならない事項です。

表記

太字 ＝ 選択するメニューや項目を表示します。

< > ＝ 操作の際に押すキーボード上のキーです。

安全上の注意

バッテリーの充電

長時間バッテリー電源のみを使用する場合は、完全にバッテリーを充電してからご使用ください。電源アダプターが本機とコンセントに接続されていれば、バッテリーは自動的に充電されます。本機の電源がONの場合は充電時間は長くなります。

重要：本機のバッテリーが完全に充電されたら、電源アダプターを本機から取り外してください。コンポーネントによっては、長時間の充電により劣化が起こる場合があります。

MeMO Padを使用する

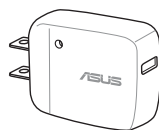
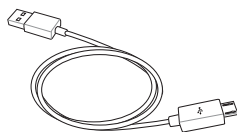
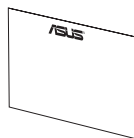
本機は0℃～35℃の周囲温度でご使用ください。

高温または低音となる場所での使用は電力消費が増えバッテリーの寿命が短くなる原因となる場合があります。バッテリーの寿命を延すためにも、定められた周囲温度の範囲内でご使用ください。

航空機内での使用について

多くの航空会社では電子機器の使用に対して規定を設けています。航空機内での本機の使用については、各航空会社にお問い合わせください。

重要：本機をハードディスクをX線装置（ベルトコンベアー）に通すことは問題ありませんが、磁気センサーや磁気ワンドはお避けください。

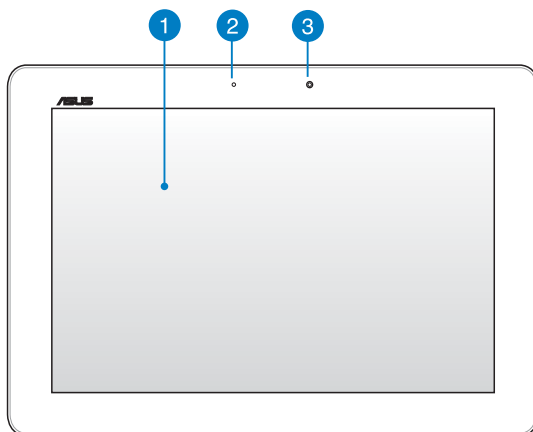
パッケージの内容

注：

- 付属品が足りないときや破損しているときは、お手数ですが販売店様にご連絡ください。
- 付属の電源アダプターは、お買い上げの地域により異なります。

Chapter 1:

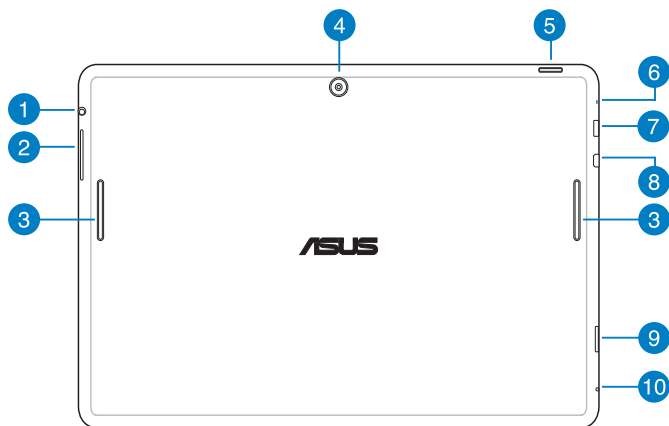
ハードウェアのセットアップ

MeMO Padの概要

前面

1. **タッチスクリーンパネル**
   タッチスクリーンパネル上を指またはスタイラスペンでなぞることでタッチ操作が可能です。

2. **光センサー**
   周囲の光を検出し自動的にディスプレイパネルの明るさを調節します。

3. **インカメラ**
   本機内蔵の1.2メガピクセルカメラで、画像の撮影や動画の録画が可能です。

背面

❶ **スピーカー/ヘッドセットポート**
スピーカーやヘッドホンを接続し、本機のオーディオ信号を出力します。

重要：外付けマイクはサポートしていません。

❷ **音量ボタン**
このボタンで音量を調節します。

❸ **オーディオスピーカー**
内蔵スピーカーにより、スピーカーを追加しなくてもオーディオをお楽しみいただけます。オーディオ機能はソフトウェア制御です。

④ アウトカメラ

本機内蔵の5メガピクセルカメラで、HDレベルの画像の撮影、動画の録画が可能です。

⑤ 電源ボタン

電源ボタンを2秒間ほど押すと、電源OFFの状態からは電源がONに、スタンバイモードからはシステムが復帰します。

本機の電源をOFFにするには、電源ボタンを約2秒間押し、「**電源を切る**」→「**OK**」の順にタップします。

本機をロック、またはスタンバイモードにするには、電源ボタンを軽く押します。

システムからの応答がなくなった場合は、電源ボタンを約10秒間押し、強制終了してください。

重要：

- 本機の操作を15秒以上を行わないと、システムは自動的にスタンバイモードに移行します。
- システムの強制終了を行うと、プログラムで保存していないデータは失われる場合があります。重要なデータは定期的にバックアップを取ることをお勧めします。

---

⑥ マイク

ビデオ会議、ナレーション、簡単な録音などの用途に使用することができます。

⑦ Micro USB ポート

このポートを使用して本機への電源供給とバッテリーの充電を行うことができます。また、コンピューターと本機でのデータ転送も可能です。

注：本機をコンピューターのUSBポートに接続すると、本機がスリープ（スクリーンがOFF）状態または電源がOFFの時に充電されます。

---

8 microHDMIポート

microHDMI (High-Definition Multimedia Interface) 対応デバイスを接続します。著作権保護技術の1つであるHDCP (High-bandwidth Digital Content Protection) にも対応していますので、HD DVD、Blu-ray等の著作権保護コンテンツの再生も可能です。

9 microSDカードスロット

本機には数種類のフラッシュメモリーカード (microSD、microSDHC、microSDXC) を書き込み、読み取ることのできる高速のカードリーダーが内蔵されています。

10 リセットホール

システムからの応答がなくなった場合は、クリップ等の尖ったものでリセットホールを押して強制終了します。

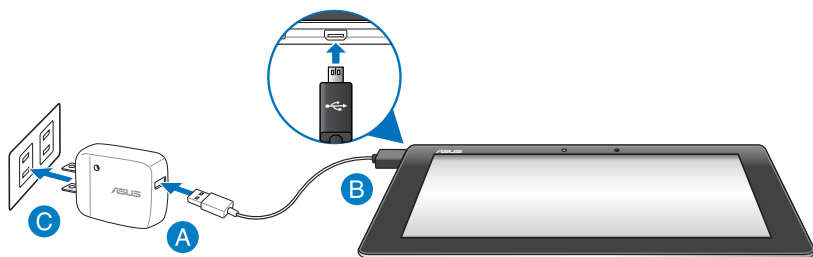
重要：システムの強制終了を行うと、プログラムで保存していないデータは失われる場合があります。重要なデータは定期的にバックアップを取ることをお勧めします。

Chapter 2:

MeMO Padを使用する

MeMO Padのセットアップ

本機の充電

手順

Ⓐ USBケーブルを電源アダプターに接続します。

Ⓑ Micro USBコネクターを本機に接続します。

Ⓒ 電源アダプターを電源コンセントに接続します。

初めてバッテリーを使用する場合は、バッテリーを完全に充電してからご使用ください（約8時間）。バッテリーの寿命を延ばすことに繋がります。

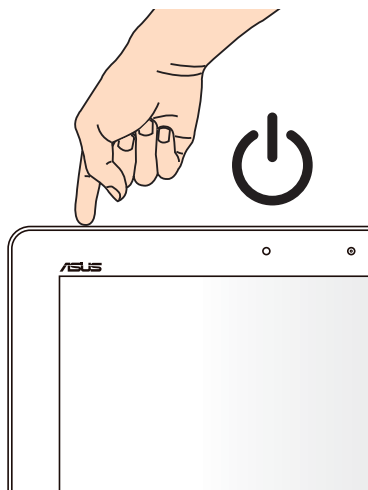
重要：

- 必ず付属の電源アダプターとUSBケーブルを使用して本機を充電してください。それ以外の電源アダプターを使用した場合、本機の故障の原因となります。
- 本機の充電の前に、プラグ、アダプター、USBケーブルの保護フィルムを剥がしてください。故障や火災の原因となり危険です。
- 電源アダプターを電源コンセントに接続する際は、入力定格が適切かどうかをご確認ください。アダプターの出力電圧は DC5V、2Aです。
- 本機のバッテリーが完全に充電されたら、電源アダプターを本機から取り外してください。コンポーネントによっては、長時間の充電により劣化が起こる場合があります。
- 本機を電源アダプターに接続しているときは、電源コンセントや電源タップの近くでご使用ください。

注：

- 本機をコンピューターのUSBポートに接続すると、本機がスリープ（スクリーンがOFF）状態または電源がOFFの時に充電されます。
- USBポートからの充電は、通常の充電方法より時間がかかります。
- コンピューターのUSBポートからの供給電力が十分でない場合は、本機をコンセントに接続し充電することをお勧めします。

本機の電源をONにする

本機の電源をONにするには、電源ボタンを約2秒間押します。

本機での操作

タッチパネルで次の操作を行い、アプリの起動や設定画面の操作を行います。

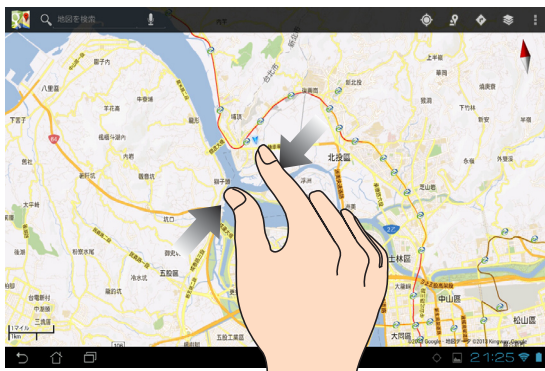
ドラッグ/タップ＆ホールド/長押し

- アプリを移動するには、アプリをタップしたまま移動先までドラッグします。
- メイン画面からアプリを削除するには、アプリをタップ&ホールドし画面の上までドラッグします。
- スクリーンショットを撮るには、 をタップ&ホールドします。

注：この設定を有効にするには、 設定 → 「**ASUS カスタマイズ設定**」で「**マルチタスクボタンを長押しして、スクリーンショットをキャプチャする**」を選択します。

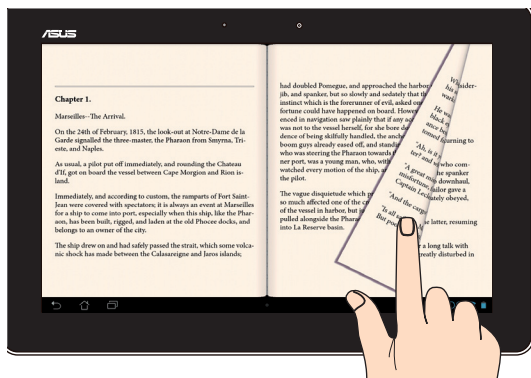
タップ/タッチ

- アプリを起動するには、アプリをタップします。
- ファイルマネージャーでファイルをタップし開きます。

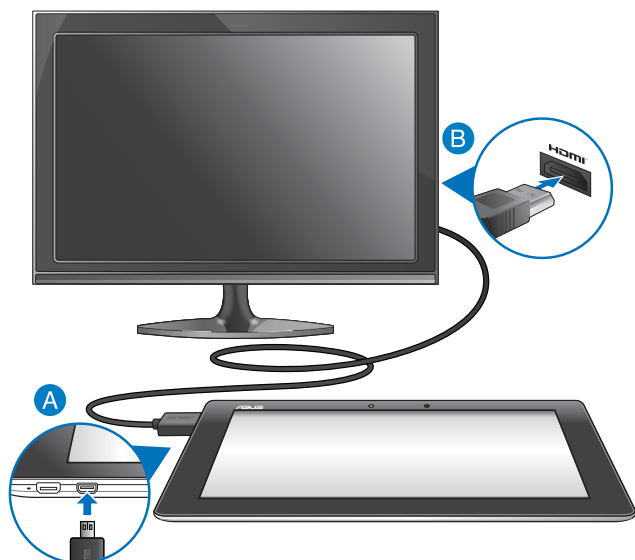
ズームアウト

タッチパネル上で2本の指先の間隔を狭めます。

ズームイン

タッチパネル上で2本の指先の間隔を広げます。

スワイプ(なぞる)

指を左または右方向になぞると、画面表示が切り替わります。書籍参照時ではページが切り替わります。

HDMI対応ディスプレイの接続

手順

Ⓐ microHDMIコネクターを本機のHDMIポートに接続します。

Ⓑ HDMIケーブルをHDMI対応ディスプレイのHDMIポートに接続します。

Chapter 3:

Android®環境で使用する

初めて使用する

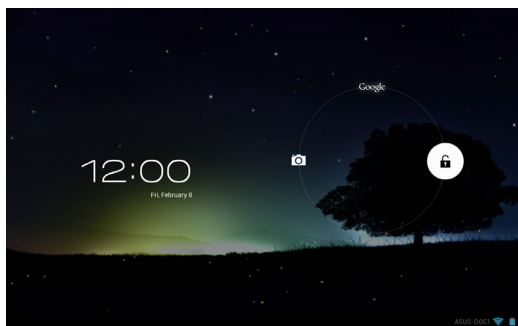
本機を初めて起動するときは、Android® のセットアップ画面が表示されます。画面の指示に従って、セットアップを実行してください。

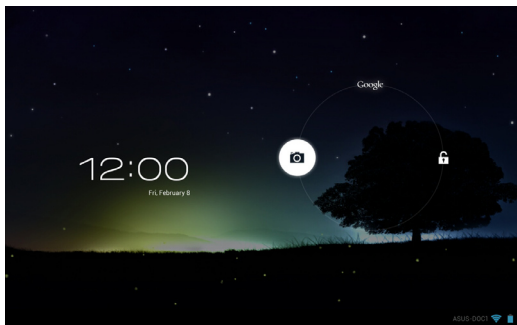
初めて使用する

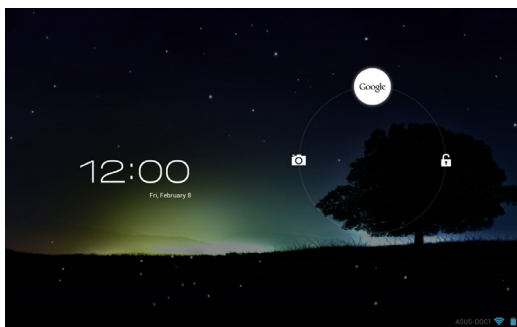
1. 本機の電源をONにします。
2. 使用する言語を選択し、「**次へ**」をタップします。
3. ワイヤレスネットワークを選択し、「**次へ**」をタップします。選択しない場合は、「**スキップ**」をタップします。
4. データ同期の設定をし、「**次へ**」をタップします。
5. 画面上の指示に従い次の設定を行います。
   - Googleアカウント
   - Googleの設定とサービス
6. 現在地の日時を設定し、「**次へ**」をタップします。
7. 「**終了**」をタップすると、ホーム画面が表示されます。

Android® ロック画面

デバイスのロック解除

ロックアイコンをタップ&ドラッグし円の外に出して、本機のロックを解除します。

クイックカメラモード

カメラモードに切り替えるには、ロックアイコンをタップ&ドラッグし円の外に出して、カメラアイコンの中に入れます。

Google Now

ロックアイコンをタップ&ドラッグし、Googleアイコンまで移動します。

Google Now

Google Nowは天気予報や近くにあるレストラン、フライトスケジュール、予定やイベント等の情報を、ウェブ履歴や同期したカレンダー、お知らせなどに応じて表示することができます。

ホーム画面

Google テキスト検索を開く
Google 音声検索を開く
日時、お天気情報、アラーム。アラーム、場所、更新頻度等、お天気ウィジェットの設定をカスタマイズするには、ここをタップ。
すべてのアプリ画面
メールボックスを表示。お買い上げ後初めてタップするとメールアカウント設定画面が開きます。それ以降はタップするとメールボックス内のメールの閲覧を行うことができます。
Google
09:26
PM
木曜日, 2013/03/14
曇り
北投区
16°C
0メール
受信箱へ
ブラウザ
YouTube
カメラ
ギャラリー
SuperNote Lite
Playミュージック
Playストア
Gmail
21:26
実行中のアプリを表示
ホーム画面に戻る
前の画面に戻る
アプリのショートカット
通知エリア、設定

画面表示

内蔵の重力センサーとジャイロスコープにより、本機を回転させると画面表示もそれに応じてポートレートまたはランドスケープに自動的に切り替わります。ポートレート表示とランドスケープ表示を切り替えるには、本機を右または左に回転させるか、水平または垂直に傾けます。

ランドスケープ

ポートレート

画面の向きを固定する

初期設定では、本機を回転させると画面の表示向きもポートレートまたはランドスケープに自動的に切り替わります。

次の手順で画面の自動回転を無効にすることができます。

1. ホーム画面の右上の ▪▪▪ をタップし、すべてのアプリ画面を開きます。
2. 設定 →「**ユーザー補助**」→「**画面の自動回転**」の順にタップし、自動回転を解除します。

注：自動回転機能は「**ASUSクイック設定**」でも有効/無効を設定することができます。詳細はセクション「設定」をご参照ください。

ネットワークへの接続

Wi-Fi ネットワークへの接続

Wi-Fi ワイヤレスネットワークにより、無線環境でのデータ通信が可能です。Wi-Fi を利用するには本機のWi-Fi 機能を有効にし、ワイヤレスネットワークに接続する必要があります。特定のワイヤレスネットワークはセキュリティキーやデジタル証明書により保護されており、詳細設定が必要な場合があります。

注：バッテリーの電力消費を抑えるため、Wi-Fi 接続を使用しないときは、Wi-Fi 接続をOFFにすることをお勧めします。

Wi-Fi 機能を有効にし、Wi-Fi ネットワークに接続する

1. ▪▪▪ をタップし、すべてのアプリ画面を開き、設定 をタップします。
2. Wi-Fi スイッチをスライドし「**ON**」にします。Wi-Fi 機能を有効にすると、本機は利用可能なWi-Fi ネットワークのスキャンを開始します。
3. ネットワークをタップして選択し接続します。セキュリティにより保護されている場合、パスワードまたはキーの入力が必要となります。

注：以前に接続したことがあるネットワークを検出した場合は、自動的に接続されます。

Bluetoothを使用する

Bluetooth機能のON/OFFの切り替え

Bluetoothはワイヤレス規格の1つで、短距離間でのデータ通信が可能です。Bluetoothはスマートフォンやコンピューター、タブレットデバイス、ヘッドセット等の多くの製品で採用されています。

Bluetoothは近距離にある複数のデバイス間でデータ通信を行う際に非常に便利です。

Bluetoothデバイスに初めて接続する際は、本機とのペアリングを実行する必要があります。

注：バッテリーの電力消費を抑えるため、Bluetooth接続を使用しないときは、Bluetooth接続をOFFにすることをお勧めします。

本機でBluetoothのON/OFFを切り替えるには、次のいずれかの手順を行います。

- をタップし、すべてのアプリ画面を開き、 をタップします。
  Bluetoothスイッチをスライドし、ONに切り替えます。
- 通知エリアをタップし「**ASUSクイック設定**」パネルを表示し、 をタップします。

本機とBluetoothデバイスのペアリング

Bluetoothデバイスに初めて接続する際は、本機とのペアリングを実行する必要があります。ペアリングが1度完了すれば、接続を解除しない限りペアリングされた状態となります。

手順

1. をタップし、すべてのアプリ画面を開き、 をタップします。
   Bluetoothスイッチをスライドし、ONに切り替えます。
2. 「**Bluetooth**」をタップし、利用可能なBluetoothデバイスを全て表示します。

注：

- ペアリングしたいデバイスが表示されない場合は、そのデバイスのBluetooth機能がONになっており、検出可能な状態であることを確認します。
- Bluetooth機能をONにし検出可能な状態にする方法は、デバイスの取扱説明書をご参照ください。

3. Bluetoothデバイスの準備ができる前に本機がスキャンを終了した場合は、「**デバイスの検索**」をタップします。
4. 利用可能なデバイスのリストからペアリングを行うBluetoothデバイスをタップします。画面上の指示に従ってペアリングを行います。必要に応じデバイスの取扱説明書をご参照ください。

本機とBluetoothデバイスの接続

ペアリングが1度完了すると、Bluetooth信号受信範囲であれば手動で簡単に再接続できます。

手順

1. をタップし、すべてのアプリ画面を開き、 をタップします。
   Bluetoothスイッチをスライドし、ONに切り替えます。
2. 「**使用可能なデバイス**」のリストからペアリング済みのデバイスをタップします。

ペアリングの解除とBluetoothデバイスの設定

手順

1. をタップし、すべてのアプリ画面を開き、 をタップします。
   Bluetoothスイッチをスライドし、ONに切り替えます。
2. 「**Bluetooth**」をタップし、設定またはペアリングを解除するBluetoothデバイスの脇に表示される をタップします。
3. ペアリング済みのデバイスの画面では次の操作が可能です。
   - 「**ペアを解除**」をタップしペアリングを解除する。
   - 「**名前の変更**」をタップしBluetoothデバイスの名前を変更する。
   - リスト表示された任意のプロファイルをタップし、プロファイルの有効/無効を設定する。
4. をタップし前の画面に戻ります。

アプリの管理

アプリのショートカットの作成

ホーム画面にアプリのショートカットを作成することができます。

手順

1. ■■■ をタップし、すべてのアプリ画面を開きます。
2. すべてのアプリ画面からアプリのアイコンをタップ&ホールドし、ホーム画面にドラッグします。

アプリ情報

アプリのショートカット作成時にアプリの詳細情報を参照することができます。アプリをアプリ画面でホールドするとホーム画面に切り替わり、アプリ情報がホーム画面の上部に表示されます。ホールド中のアプリをドラッグして「**アプリ情報**」に移動すると、アプリの詳細情報が表示されます。

アプリをホーム画面から削除する

ホーム画面のアプリやショートカットを削除することができます。

手順

1. アプリを「**× 削除**」が表示されるまでタップ&ホールドします。
2. アプリを「**× 削除**」までドラッグし、ホーム画面から削除します。

アプリフォルダー

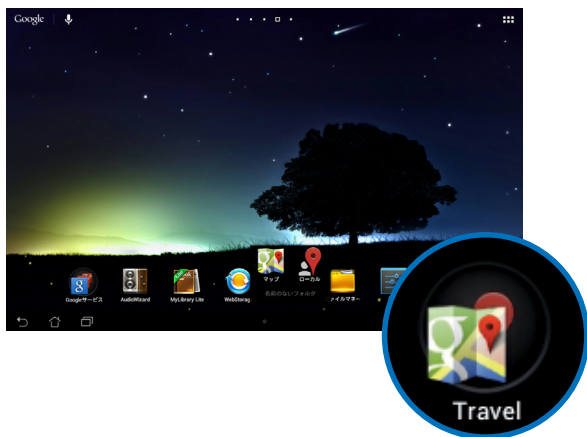
フォルダーを作成し、ホーム画面のショートカットを整理することができます。

手順

1. ホーム画面でアプリまたはショートカットをタップし、黒い円が表示されるまで他のアプリまたはショートカットの上にドラッグします。

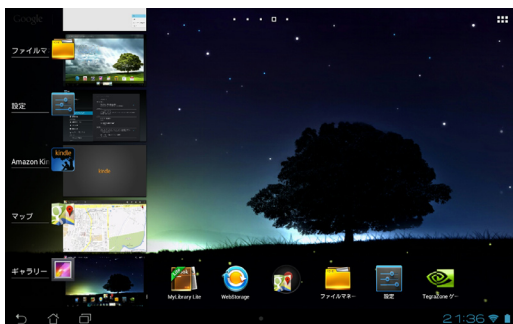
注:

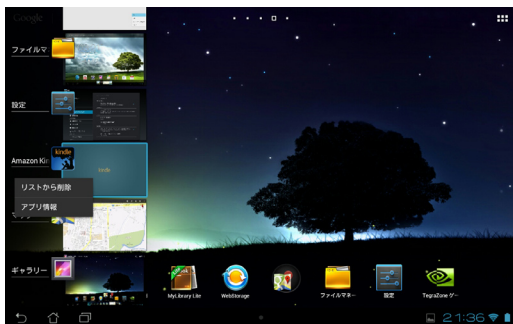
- 作成したフォルダーは黒い円の中に表示されます。
- フォルダーには複数のアプリを追加することができます。

2. フォルダーをタップし、「**名前のないフォルダ**」をタップして新しいフォルダー名を入力します。

最近使用したアプリ

この画面には最近使用したアプリのショートカットが表示されます。使用したアプリを再度開く、またアプリを切り替えるときに便利です。

手順

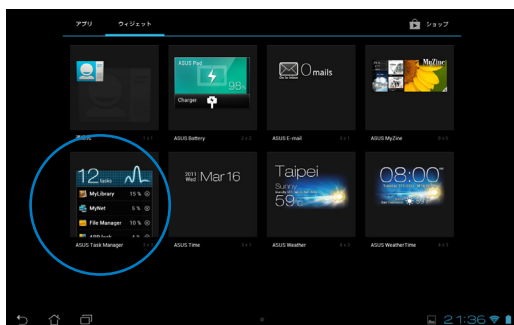
1. ホーム画面左下の をタップします。
2. 最近使用したアプリが全て表示されます。起動するアプリをタップします。

実行中のアプリを表示

1. アプリをタップ&ホールドしてメニューを表示します。
2. リストからアプリを削除するには、「**リストから削除**」を選択します。関連情報を参照するには「**アプリ情報**」を選択します。

注：アプリを左または右になぞると、リストから削除することができます。

タスクマネージャー

ASUSタスクマネージャーは起動中のアプリをリスト表示し、各アプリの使用状況を%で表示します。起動中のアプリを選択して終了することもできます。また一括で全てのアプリを終了することもできます。

タスクマネージャーの管理

1. をタップしすべてのアプリ画面を開きます。「**ウィジェット**」をタップしウィジェットメニューを表示します。
2. 「**ASUS タスクマネージャー**」をタップ&ホールドすると、ASUS タスクマネージャーボックスがホーム画面に表示されます。

3. ウィジェットをタップ&ホールドすると、ウィジェットのサイズを調整することができます。上下にドラッグするとタスクのリストが完全に表示されます。

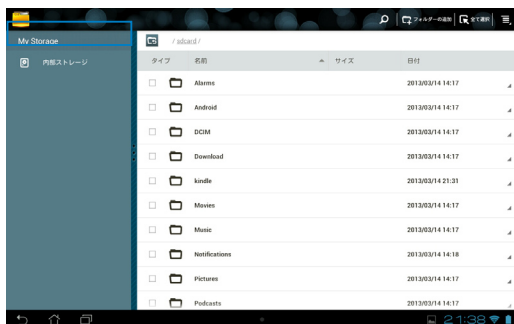
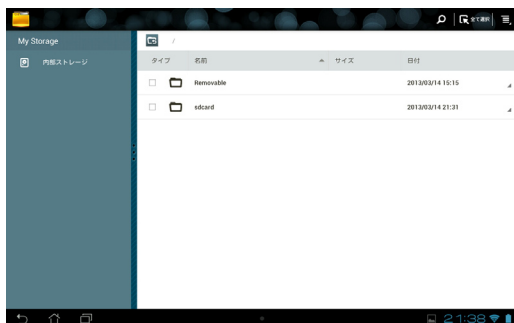
4. 起動中のアプリの横にある⊗をタップすると、アプリが閉じます。「**すべてを閉じる**」をタップすると、一括で全てのアプリを終了することができます。

ファイルマネージャー

内部ストレージまたは外付けストレージ内のデータへのアクセス、管理を行うことができます。

内部ストレージへのアクセス

内部ストレージへのアクセス：

1. をタップし、すべてのアプリ画面を開きます。
2. をタップし左パネルの「**内部ストレージ**」をタップし、本機の内部ストレージのコンテンツから項目を選択して参照します。microSDカードが挿入されている場合は、「**MicroSD**」をタップするとmicroSDカード内のコンテンツを参照することができます。

3. をタップするとMy Storageのルートディレクトリに戻ります。

外付けストレージへのアクセス

外付けストレージへの直接アクセス

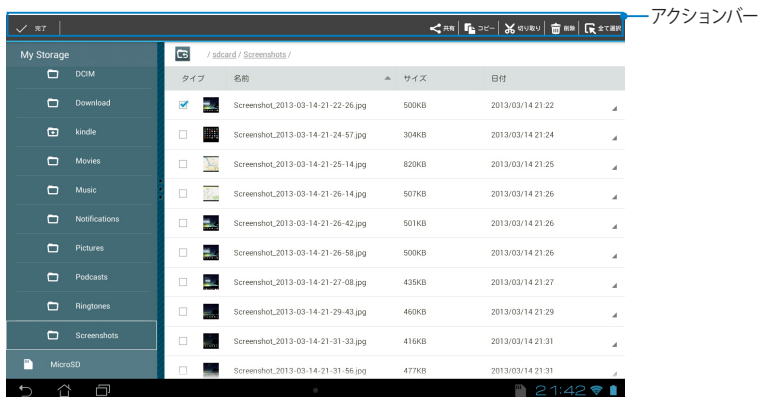
1. ホーム画面の右下にあるをタップし、通知ボックスを表示します。

2. 「**開く**」をタップし、microSDカード内のコンテンツを表示します。本機からmicroSDカードを取り外すには、「**マウント解除**」をタップします。

重要：microSDカードを本機から取り外す際は、取り外す前にmicroSDカード内のデータを保存してください。

コンテンツのカスタマイズ

ファイルマネージャーで内部ストレージまたは外付けストレージ内のコンテンツをコピー、切り取り、削除することができます。

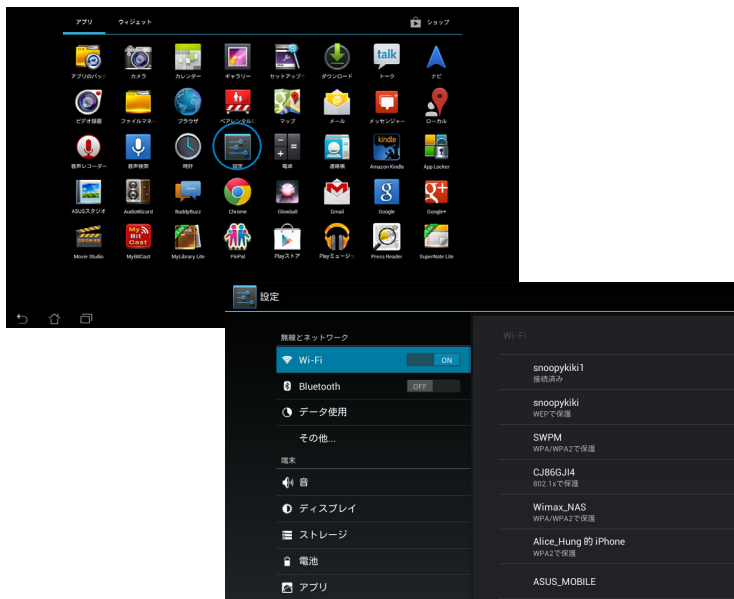
ファイルまたはフォルダーの脇にあるボックスにチェックを入れると画面右上にアクションバーが表示されます。ファイルやフォルダーのカスタマイズはこのアクションバーで行います。

注：

- SHARE はファイルを選択したときだけ表示されます。
- ファイルを選択し、移動先までドラッグすることもできます。

設定

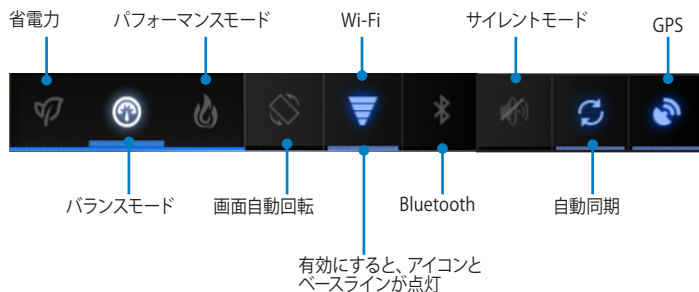
本機の各設定を行います。
設定項目：無線接続、ハードウェア、パーソナル、アカウントとシステム。

設定画面の起動方法は2つあります。

1. すべてのアプリ画面で をタップし、メニューを表示します。

2. 通知エリアをタップし「**ASUSクイック設定**」パネルを表示し、⚙をタップします。

ASUSクイック設定

ASUSクイック設定調整パネル

いずれかのアイコンをタップし、機能の有効/無効を切り替えます。

注：

- **バランスモード（デフォルト）：**最適なバッテリーの状態とパフォーマンス設定。
- **パフォーマンスモード：**最適なシステムパフォーマンス（消費電力は増加）。
- **省電力モード：**消費電力を抑える設定。

通知パネル

クイック設定パネルで表示され、アプリの更新、着信メール、ユーティリティの状態を通知します。

注：通知を左または右になぞるとリストから削除されます。

本機の電源をOFFにする

次のいずれかの手順で本機の電源をOFFにすることができます

- 電源ボタンを約2秒間押し、メッセージが表示されたら「**電源を切る**」をタップし「**OK**」をタップします。
- システムからの応答がないときは、電源ボタンを約10秒間押し続けるとシステムを強制終了することができます。

重要：システムの強制終了を行うとデータが消失する場合があります。重要なデータは定期的にバックアップを取ることをお勧めします。

本機をスリープモードにする

本機の電源ボタンを1度押します。

Chapter 4:

プリインストール済みのアプリ

プリインストール済みのアプリ

Playミュージック

Playミュージックは音楽ファイルの一括管理が可能な統合型インターフェースです。内部ストレージまたは外付けストレージに保存した音楽ファイルを再生することができます。

全てのオーディオファイルをランダム再生することができます。また、フリップしてアルバムを選択することもできます。

ホーム画面で をタップし、音楽ファイルを再生します。

注：

本機がサポートするオーディオ/ビデオコーデック：

- **デコーダー**

  オーディオコーデック: AAC LC/LTP, HE-AACv1(AAC+)、HE-AACv2(enhanced AAC+)、AMR-NB、 AMR-WB、MP3、FLAC、MIDI、PCM/WAVE、Vorbis、WAV a-law/mu-law、 WAV linear PCM、WMA 10、WMA Lossless、WMA Pro LBR

  ビデオコーデック: H.263、H.264、MPEG-4、VC-1/WMV、VP8

- **エンコーダー**

  オーディオコーデック: AAC LC/LTP、AMR-NB、AMR-WB

  ビデオコーデック: H.263、H.264、MPEG-4

カメラ

カメラアプリを使用すれば本機で写真撮影、録画が可能です。

カメラを起動するには、ホーム画面の カメラ をタップします。

注：画像ファイル、動画ファイルはギャラリーに自動的に保存されます。

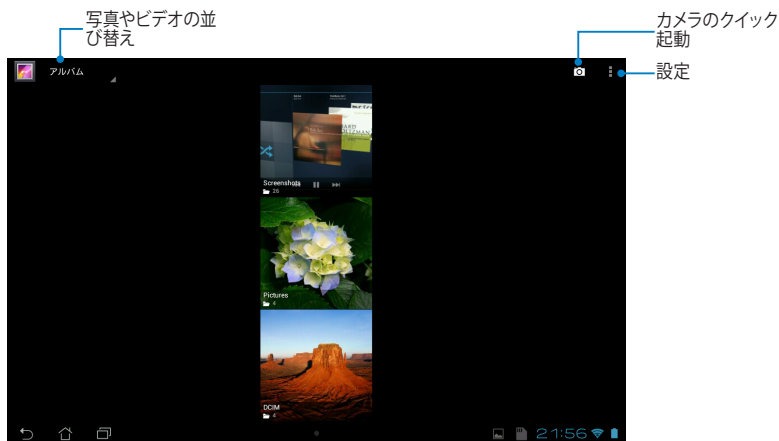
カメラモード

ビデオモード

ギャラリー

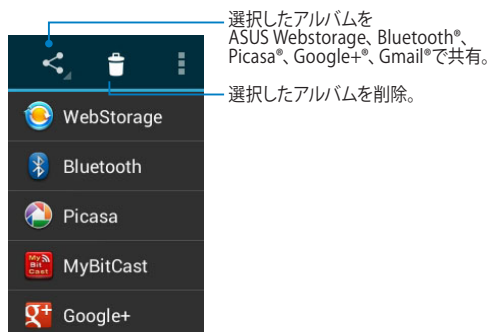
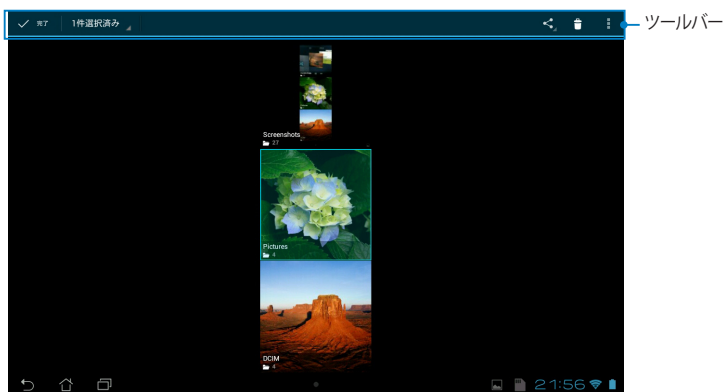
ギャラリーでは画像の参照や動画の再生が可能です。また、本機に保存した画像や動画ファイルの編集、共有、削除も可能です。スライドショーの再生や画像/動画ファイルの選択も可能です。

ギャラリーを起動するには、ホーム画面の ギャラリー をタップします。

ギャラリーメイン画面

アルバムの共有と削除

アルバムを供給するには、アルバムをタップ&ホールドしてツールバーを画面上部に表示します。選択したアルバムはインターネットを通じてアップロード、共有が可能です。不要なアルバムは削除することができます。

選択したアルバムを
ASUS Webstorage、Bluetooth®、
Picasa®、Google+®、Gmail®で共有。

選択したアルバムを削除。

画像の共有、削除、編集

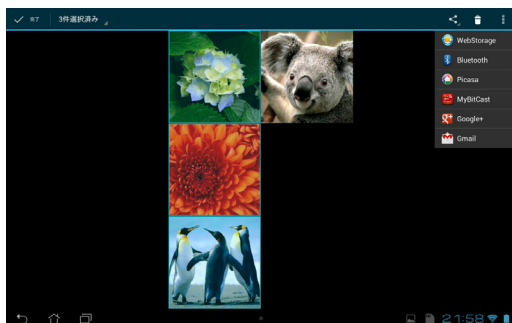
画像をタップし開き、画面上をタップしてツールバーを起動すると、画像の共有や削除、編集が可能です。

画像の共有

手順

1. ギャラリー画面から共有したい画像が保存されたアルバムを開きます。
2. タップして選択し、 をタップし画像の共有を行うアプリを選択します。

複数の画像を共有する

1. ギャラリー画面から共有したい画像が保存されたアルバムを開きます。
2. 画像を1枚タップし、他の画像もタップします。
3. をタップし、画像の共有を行うアプリを選択します。

画像の編集

手順

1. ギャラリー画面から編集したい画像が保存されたアルバムを開きます。
2. 画像をタップして開き、 をタップし「**編集**」をタップします。
3. 編集ツールで画像を編集します。

画像の削除

手順

1. ギャラリー画面から削除したい画像が保存されたアルバムを開きます。
2. 画像を1枚タップして開き、 をタップします。
3. 「**OK**」をタップします。

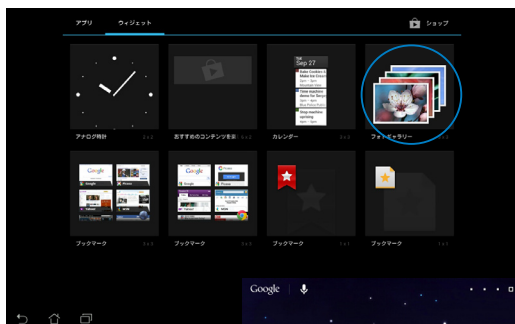
複数の画像を削除する

1. ギャラリー画面から削除したい画像が保存されたアルバムを開きます。
2. 画像を1枚タップし、他の画像もタップします。
3. をタップし「**OK**」をタップします。

ウィジェット「ギャラリー」へのアクセス

「**フォトギャラリー**」ウィジェットでホーム画面から直ぐにお気に入りの画像やアルバムにアクセスすることができます。

ホーム画面でウィジェットを表示する

1. をタップしすべてのアプリ画面を開きます。
2. 「**ウィジェット**」タブをタップし、ウィジェットメニューを表示します。
3. 「**フォトギャラリー**」をタップ&ホールドし、ウィジェットボックスをホーム画面に移動し、「**画像の選択**」メニューボックスを表示します。
4. ホーム画面上にウィジェットとして表示するオプションを「**画像の選択**」ダイアログボックスから選択します。

メール

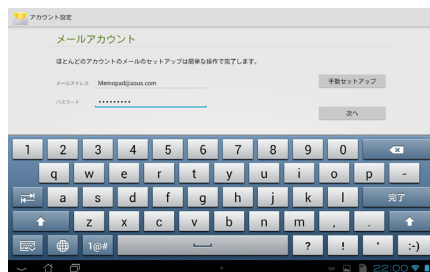
POP3アカウント、IMAPアカウント、Exchangeアカウントを追加し、メールを作成、送受信、参照をすることができます。

> **重要：**メールアカウントの追加、メールの送受信の際は、インターネット接続が必要となります。

メールアカウントの作成

手順

1. をタップしすべてのアプリ画面を開きます。
2. をタップし、アプリ「**メール**」を起動します。
3. メールアドレスとパスワードを入力し、「**次へ**」をタップします。

> **注：**本機が受信/送信メールサーバー設定を自動的にチェックします。しばらくお待ちください。

4. 「**アカウントオプション**」を設定し、「**次へ**」をタップします。

5. 発信メッセージに表示させたいアカウント名を入力し、「**次へ**」をタップし受信箱にログインします。

メールアカウントの追加

手順

1. をタップしすべてのアプリ画面を開きます。
2. メール をタップし、設定したアカウントでログインします。
3. →「**設定**」の順にタップします。画面右上の「**アカウントの追加**」をタップします。

Gmail

GmailではGmailアカウントの新規作成、メールの送受信、メールの参照、同期を行うことができます。このアプリを有効にすると、Googleアカウントの入力が必要な他のGoogleアプリにもアクセスできます（Playストア等）。

Gmailアカウントの作成

Gmailアカウントをセットアップする：

1. ホーム画面で Gmail をタップします。

2. 「**既存のアカウント**」をタップしGmailアカウントとパスワードを入力し、「**サインイン**」をタップします。

注：

- Googleアカウントをお持ちでない場合は、「**新しいアカウント**」をタップします。
- サインインの際は、本機がGoogleサーバーと通信しアカウントを作成します。完了するまでしばらく時間がかかります。

3. Google アカウントを使用し、ユーザー設定とデータをバックアップ・復元することができます。「**次へ**」をタップし、Gmailアカウントにサインインします。

重要：複数のメールアカウントをGmailに追加する場合は、Emailで全てのメールアカウントに同時にアクセスすることができます。

Playストア

PlayストアではGoogleアカウントを使用し、各種ゲームやアプリをダウンロードすることができます。

重要：GoogleアカウントでPlayストアにアクセスすることができます。

Playストアにアクセスする

手順

1. ホーム画面で をタップします。
2. Googleアカウントをお持ちの場合は、「**既存のアカウント**」をタップしメールアカウントとパスワードを入力します。アカウント未作成の場合は「**新しいアカウント**」をタップし、画面上の指示に従ってアカウントを作成します。
3. サインイン後は、Playストアからアプリをダウンロードし本機に追加することができます。

注：

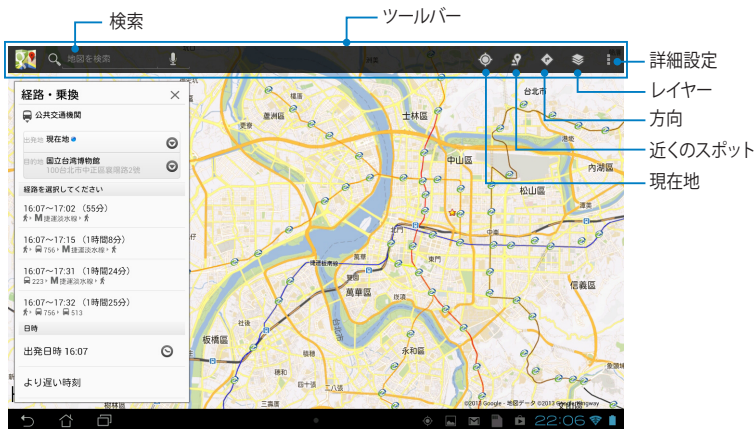
- 削除したアプリは復元できませんが、同じIDでログインし再度ダウンロードすることができます。
- 有料アプリを購入される場合は、クレジットカードで支払いを行います。

マップ

施設の検索や、地図の参照、目的地の確認等に使用することができます。また、現在地付近にあるスポットにチェックインし、他のユーザーとそのスポットに関する情報を共有することもできます。

Googleマップを使用する

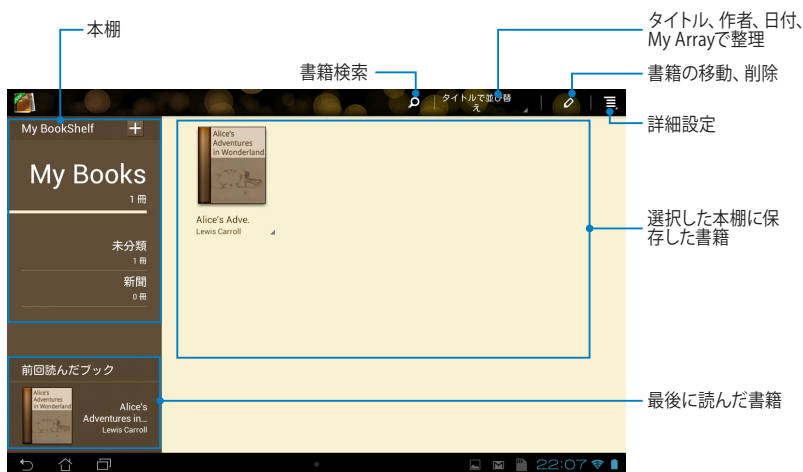
手順

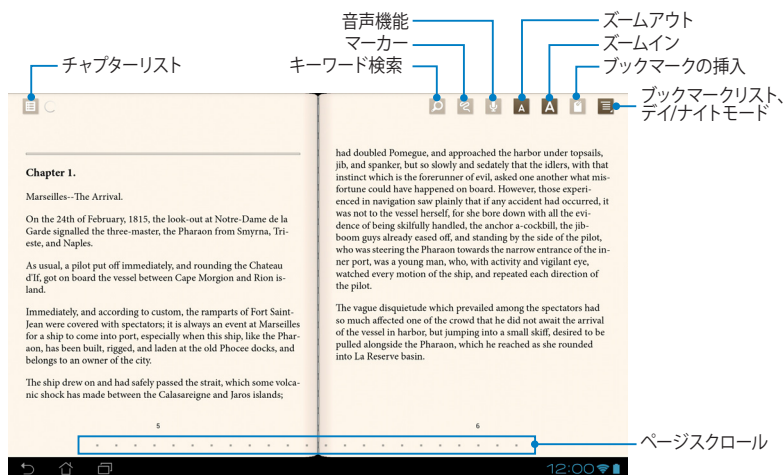
1. ■■■をタップしすべてのアプリ画面を開き、マップをタップします。
2. 画面上部のツールバーをタップし、様々な検索を行います。

MyLibrary Lite

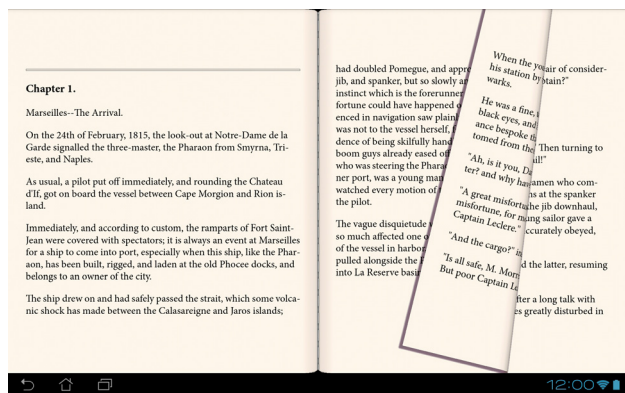
書籍を管理するための多機能インターフェースです。ジャンルや本棚で購入した書籍の整理することができます。

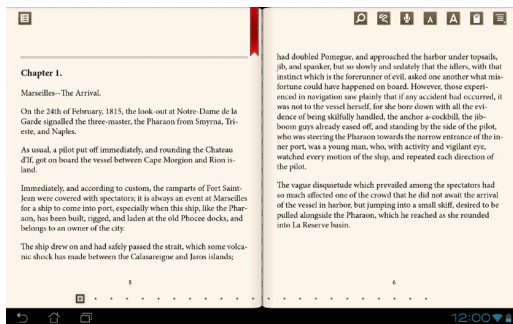
MyLibrary Liteを起動するには ■■■ をタップしすべてのアプリ画面を開き、 をタップします。

注：MyLibraryがサポートする書籍のファイル形式は「ePub、PDF、TXT」です。

MyLibrary Liteメイン画面

書籍の閲覧

指を右から左になぞれば次のページに、左から右になぞれば前のページに切り替わります。

ページをめくる

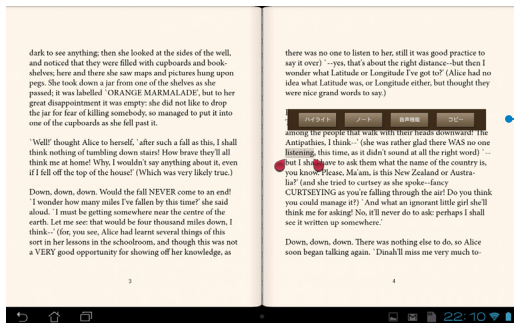
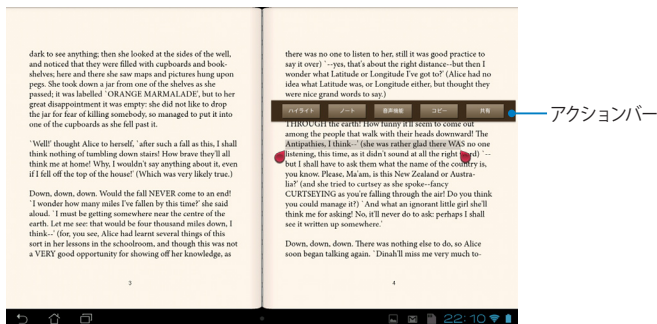
次のページを開くには画面上を右から左へなぞります。前のページに戻るには左から右になぞります。

ブックマークの挿入

ブックマーク機能を使用すれば、最後に読んだページを簡単に開くことができます。

手順

1. 画面上をタップしツールバーを起動します。
2. をタップしページにブックマークを挿入します。ブックマークは複数ページに挿入することができます。
3. ブックマークを挿入したページを参照するには、 → 「**ブックマークリスト**」をタップし、参照したいページをタップします。

注釈を表示する

ページ上の単語やフレーズの定義の参照、メールでの共有、音声機能での再生等が可能です。

単語の注釈

フレーズの注釈

手順

1. アクションバーと辞書が表示されるまで、使用する単語またはフレーズをタップ&ホールドします。

注：フレーズをマークするには、単語を長押ししたままスライドします。フレーズを選択した場合、辞書は表示されません。

---

2. アクションバーには次のオプションがあります。
   a. 「**ハイライト**」をタップし単語またはフレーズをマークします。
   b. 「**注釈**」をタップし、選択した単語またはフレーズを記録します。
   c. 「**音声機能**」をタップすると、選択した単語やフレーズが再生されます。
   d. 「**コピー**」をタップし選択した単語またはフレーズをコピーし、テキストアプリに貼り付けることができます。
   e. 単語やフレーズを共有するには「**共有**」をタップし、共有を行うアプリを選択します。

SuperNote

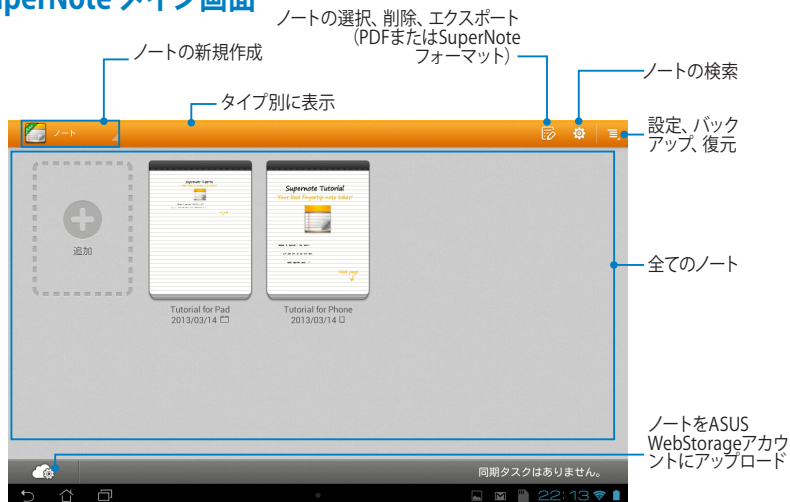
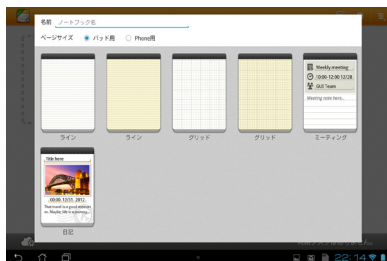
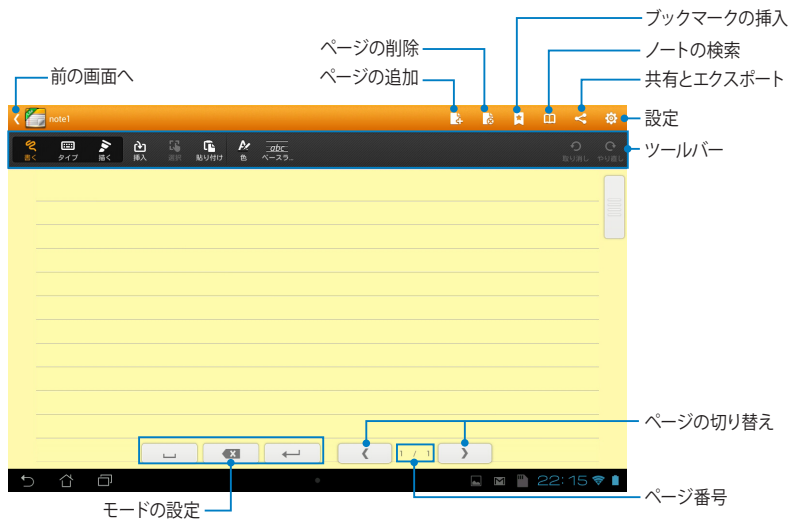
SuperNoteではメモや落書き、画像のスクリーンショットや画像の挿入、録音や動画撮影などが簡単に行えます。

ASUS WebStorageアカウントでノートを共有することもできます。

SuperNoteを起動するには、ホーム画面から → SuperNote をタップします。

SuperNote メイン画面

新しいノートの作成

手順

1. ノート をタップします。
2. ファイルに名前を付け、テンプレートを選択すると新しいノートが表示されます。

SuperNote Notebook

注：「**書く**」モード、「**描く**」モード、「**タイプ**」モードをタップすると、モードの設定とツールバーの表示内容が変化します。

ノートのカスタマイズ

SuperNoteでは様々な効果が用意されています。ツールバーの各種効果を使用し、ノートをカスタマイズすることができます。

注：ツールバーの設定内容は選択したモードにより異なります。

手順

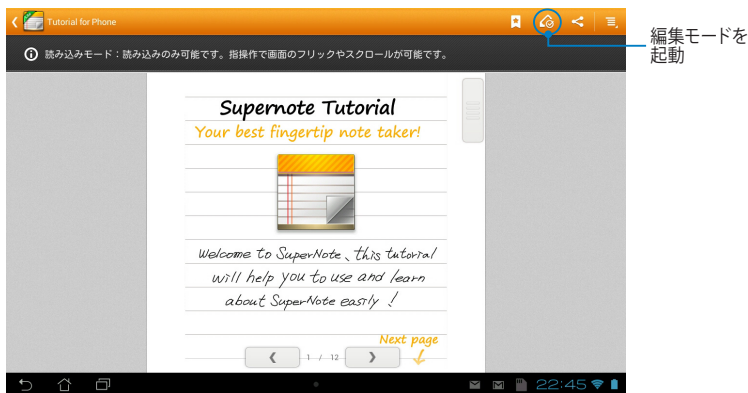
1. SuperNote メイン画面でカスタマイズするノートをタップします。
2. 「**書く**」をタップすると、手書き入力が可能です。「**タイプ**」をタップするとキーパッドで活字を入力することができます。「**描く**」をタップすると、絵を描くことができます。

   注：

   - 「**書く**」モードでは、ツールバーの「**ベースライン**」をタップすると罫線が表示されます。
   - 「**書く**」モード、「**タイプ**」モードでは、「**色**」をタップするとテキストの色変更が、「**太字**」をタップするとテキストの太さの変更が可能です。
   - 「**描く**」モードでは、「**ブラシ**」をタップすると筆跡や筆圧、不透明度、色を選択することができます。

3. テキストイメージやメディアファイルを挿入するには、「**挿入**」をタップし挿入したいファイルのタイプをタップし選択します。
4. 挿入したコンテンツを移動、サイズ変更するには、「**選択**」をタップし、 コンテンツを選択します。

SuperNote 読み込み専用モード

読み込み専用モードを起動するには、 をタップします。指を上または下にスライドするとページが切り替わります。

ノートの名前変更

手順

1. SuperNoteメイン画面でファイルをタップ&ホールドし、「**名前変更**」をタップします。
2. ファイル名を入力し「**OK**」をタップします。

ノートの非表示

手順

1. SuperNoteメイン画面でファイルをタップ&ホールドし、「**ロックし隠す**」をタップします。
2. パスワードを入力し、「**OK**」をタップします。

注：

- ノートを初めて非表示にするときは、パスワードを設定する必要があります。
- 非表示にしたノートを参照する場合は、 をタップし「**ロックされたノートを表示**」をタップします。

ノートの削除

手順

1. SuperNoteメイン画面でファイルをタップ&ホールドし、「**削除**」をタップします。
2. 「**削除**」をタップし、ファイルを削除します。

AudioWizard

AudioWizardでは本機のサウンドモードをカスタマイズし、用途に合ったクリアなサウンドを提供します。

Audio Wizardを起動するには、ホーム画面の をタップし AudioWizard をタップします。

AudioWizardの使用

手順

1. AudioWizardウィンドウで使用するサウンドモードをタップします。

注：保存したサウンドモードを無効にする場合は「**OFF**」をタップします。

2. 選択したサウンドモードを保存するには、「**OK**」をタップし、ウィンドウを閉じます。

App Locker

App Lockerはアプリをロックし、他のユーザーからのアクセスを制限します。ロックしたアプリの起動には、パスワードの入力が必要です。

また、App Lockerではファイル保護機能により、特定のファイルやフォルダーへのアクセスを制限することもできます。

App Lockerを使用する

App Lockerを使用する:

1. ホーム画面の をタップし App Locker をタップします。

2. 「**開始**」をタップし、パスワードを設定し「**OK**」をタップします。

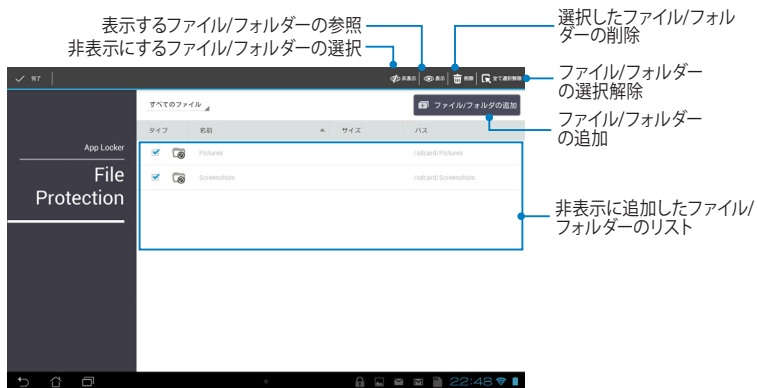
3. 「**OK**」をタップしApp Lockerを有効にします。

App Locker画面

注：

- ロックしたアプリはホーム画面とすべてのアプリ画面でロック済みアイコンとして表示されます。
- App Lockerを無効にする場合は、 ☰ をタップし「**App Lockerを有効にする**」のチェックを外してください。

ファイルの保護

表示するファイル/フォルダーの参照
非表示にするファイル/フォルダーの選択
選択したファイル/フォルダーの削除
ファイル/フォルダーの選択解除
ファイル/フォルダーの追加
非表示に追加したファイル/フォルダーのリスト
App Locker
File Protection
すべてのファイル
ファイル/フォルダの追加
タイプ
名前
サイズ
パス
Pictures
/sdcard/Pictures
Screenshots
/sdcard/Screenshots
22:48

アプリのバックアップ

インストールしたアプリと内部ストレージまたは外付けストレージ内の関連データのバックアップを取ります。バックアップデータは外付けストレージにコピーされます。また、バックアップしたアプリとデータをファームウェア更新後に復元することができます。

アプリのバックアップを行うには、ホーム画面の をタップし、 アプリのバックアップ をタップします。

重要：

- アカウント認証が必要なアプリの復旧はできません。
- アプリとデータのバックアップファイルを複製する場合は、アプリとデータのバックアップを行う前にmicroSDカードをmicroSDカードスロットに挿入してください。

バックアップリスト画面

アプリとデータのバックアップ

手順

1. アプリバックアップのメイン画面の左メニューから「**バックアップリスト**」をタップし、バックアップファイルをリスト表示します。
2. バックアップしたいアプリを選択し、 バックアップ をタップします。

3. バックアップファイルに名前を付け、「**OK**」をタップします。

   注：バックアップファイルのコピーを保存する場合は、「**バックアップファイルのコピー先**」を選択し、保存先フォルダーを選択します。

4. バックアップファイル用のパスワードを設定し、「**OK**」をタップします。

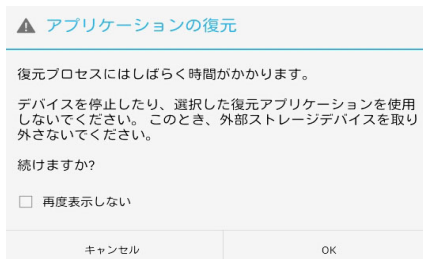
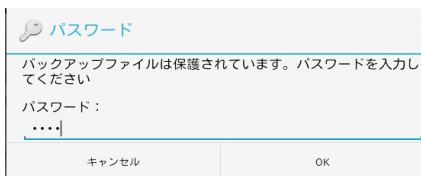
5. 「**OK**」をタップしアプリケーションのバックアップを開始します。

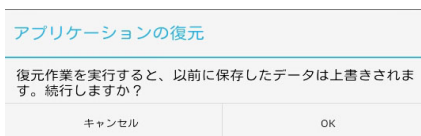
6. バックアップが完了したら「**OK**」をタップします。

バックアップリスト

アプリとデータの復元

手順

1. アプリバックアップのメイン画面の左メニューから「**復元リスト**」をタップし、バックアップファイルをリスト表示します。
2. 復元したいファイルを選択し、「**OK**」をタップします。

3. バックアップファイル作成時に設定したパスワードを入力し、「**OK**」をクリックします。

4. 復元したいファイルを選択し、「**OK**」をタップします。

5. 「**OK**」をタップし、システム内のアプリを復元します。

6. 完了したら「**OK**」をタップします。

ウィジェット

ウィジェットはホーム画面のアプリへのショートカットとして機能します。

ウィジェットを参照するには、ホーム画面の をタップし、「**ウィジェット**」をタップします。

ウィジェットをホーム画面に表示する

ウィジェット画面をスクロールし、ホーム画面に表示させたいウィジェットを探します。ウィジェットをタップ&ホールドし、そのままホーム画面にドラッグします。

重要：

- ウィジェットを使用する前に、追加タスク（登録や有効化）を促すメッセージが表示される場合があります。
- 画面上にウィジェットを移動する場所が足りない場合は、ウィジェットは追加されません。

ウィジェットをホーム画面から削除する

ホーム画面上のウィジェットを「**× 削除**」が表示されるまでタップ&ホールドします。そのまま「**× 削除**」にドラッグし、ホーム画面から削除します。

ホーム画面から
ウィジェットを削除

ASUS Battery

ASUS Batteryは本機と接続したアクセサリーのバッテリーの状況を参照できるウィジェットです。

ASUS Batteryウィジェットを参照するには、ホーム画面の ⁝⁝⁝ をタップし、「**ウィジェット**」をタップします。

ASUS Batteryウィジェットをホーム画面に表示する

ウィジェット画面をスクロールし、ASUS Batteryウィジェットを探します。ウィジェットをタップ&ホールドし、そのままホーム画面にドラッグします。

注：MeMO Padのバッテリーの状態はASUSクイック設定とタスクトレイでも参照することができます。詳細はASUSクイック設定とタスクトレイに関するセクションをご参照ください。

Chapter 5:　付録

Federal Communications Commission Statement

This device complies with FCC Rules Part 15. Operation is subject to the following two conditions:

- This device may not cause harmful interference.
- This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a class B digital device, pursuant to Part 15 of the Federal Communications Commission (FCC) rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment causes harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by doing one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

The antenna(s) used for this transmitter must not be co-located or operating in conjunction with any other antenna or transmitter.

Operation on the 5.15-5.25 GHz frequency band is restricted for indoor use only. The FCC requires indoor use for the 5.15-5.25 GHz band to reduce the potential for harmful interference to co-channel Mobile Satellite Systems. It will only transmit on 5.25-5.35 GHz, 5.47-5.725 GHz and 5.725-5.850 GHz bands when associated with an access point (AP).

RF Exposure Information (SAR)

This device meets the government's requirements for exposure to radio waves. This device is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.

The exposure standard employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg. Tests for SAR are conducted using standard operating positions accepted by the FCC with the EUT transmitting at the specified power level in different channels.

The highest SAR value for the device as reported to the FCC is 1.34 W/kg when placed next to the body.

The FCC has granted an Equipment Authorization for this device with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure guidelines. SAR information on this device is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of www.fcc.gov/oet/ea/fccid after searching on FCC ID: MSQK001.

Canada, Industry Canada (IC) Notices

This Class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003 and RSS-210.

Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause interference, and (2) this device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device. The IC ID for this device is 3568A-K001.

Radio Frequency (RF) Exposure Information

The radiated output power of the Wireless Device is below the Industry Canada (IC) radio frequency exposure limits. The Wireless Device should be used in such a manner such that the potential for human contact during normal operation is minimized.

This device has been evaluated for and shown compliant with the IC Specific Absorption Rate ("SAR") limits when installed in specific host products operated in portable exposure conditions.

Canada's REL (Radio Equipment List) can be found at the following web address: http://www.ic.gc.ca/app/sitt/reltel/srch/nwRdSrch.do?lang=eng

Additional Canadian information on RF exposure also can be found at the following web address: http://www.ic.gc.ca/eic/site/smt-gst.nsf/eng/sf08792.html

Canada, avis d'Industrie Canada (IC)

Cet appareil numérique de classe B est conforme aux normes canadiennes ICES-003 et RSS-210.

Son fonctionnement est soumis aux deux conditions suivantes: (1) cet appareil ne doit pas causer d'interférence et (2) cet appareil doit accepter toute interférence, notamment les interférences qui peuvent affecter son fonctionnement. L'identifiant IC de cet appareil est 3568A-K001.

Informations concernant l'exposition aux fréquences radio (RF)

La puissance de sortie émise par cet appareil sans fil est inférieure à la limite d'exposition aux fréquences radio d'Industrie Canada (IC). Utilisez l'appareil sans fil de façon à minimiser les contacts humains lors du fonctionnement normal.

Ce périphérique a été évalué et démontré conforme aux limites SAR (Specific Absorption Rate – Taux d'absorption spécifique) d'IC lorsqu'il est installé dans des produits hôtes particuliers qui fonctionnent dans des conditions d' exposition à des appareils portables.

Ce périphérique est homologué pour l'utilisation au Canada. Pour consulter l'entrée correspondant à l'appareil dans la liste d'équipement radio (REL - Radio Equipment List) d'Industrie Canada rendez-vous sur: http://www.ic.gc.ca/app/sitt/reltel/srch/nwRdSrch.do?lang=eng

Pour des informations supplémentaires concernant l'exposition aux RF au Canada rendez-vous sur: http://www.ic.gc.ca/eic/site/smt-gst.nsf/eng/sf08792.html

IC Warning Statement

The device could automatically discontinue transmission in case of absence of information to transmit, or operational failure. Note that this is not intended to prohibit transmission of control or signaling information or the use of repetitive codes where required by the technology.

The device for the band 5150-5250 MHz is only for indoor usage to reduce potential for harmful interference to co-channel mobile satellite systems; the maximum antenna gain permitted (for device in the bands 5250-5350 MHz and 5470-5725 MHz) to comply with the EIRP limit; and the maximum antenna gain permitted (for devices in the band 5275-5850 MHz) to comply with the EIRP limits specified for point-to-point and non point-to-point operation as appropriate, as stated in section A9.2(3). In addition, high-power radars are allocated as primary users (meaning they have priority) of the band 5250-5350 MHz and this radar could cause interference and/or damage to LE-LAN devices.

The Country Code Selection feature is disabled for products marketed in the US/Canada. For product available in the USA/Canada markets, only channel 1-11 can be operated. Selection of other channels is not possible.

EC Declaration of Conformity

This product is compliant with the regulations of the R&TTE Directive 1999/5/EC. The Declaration of Conformity can be downloaded from http://support.asus.com.

Prevention of Hearing Loss

To prevent possible hearing damage, do not listen at high volume levels for long periods.

À pleine puissance, l'écoute prolongée du baladeur peut endommager l'oreille de l' utilisateur.

For France, headphones/earphones for this device are compliant with the sound pressure level requirement laid down in the applicable EN 50332-1:2000 and/or EN50332-2:2003 standard required by French Article L.5232-1.

CE Mark Warning

CE marking for devices wireless LAN/Bluetooth

This equipment complies with the requirements of Directive 1999/5/EC of the European Parliament and Commission from 9 March, 1999 governing Radio and Telecommunications Equipment and mutual recognition of conformity.

The highest CE SAR value for the device is 0.654 W/Kg.
This equipment may be operated in:

AT	BE	BG	CH	CY	CZ	DE	DK
EE	ES	FI	FR	GB	GR	HU	IE
IT	IS	LI	LT	LU	LV	MT	NL
NO	PL	PT	RO	SE	SI	SK	TR

DFS controls related to radar detection shall not be accessible to the user.

RF Exposure information (SAR) - CE

This device meets the EU requirements (1999/519/EC) on the limitation of exposure of the general public to electromagnetic fields by way of health protection.

The limits are part of extensive recommendations for the protection of the general public. These recommendations have been developed and checked by independent scientific organizations through regular and thorough evaluations of scientific studies. The unit of measurement for the European Council's recommended limit for mobile devices is the "Specific Absorption Rate" (SAR), and the SAR limit is 2.0 W/Kg averaged over 10 gram of body tissue. It meets the requirements of the International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection (ICNIRP).

For next-to-body operation, this device has been tested and meets the ICNRP exposure guidelines and the European Standard EN 62311 and EN 62209-2. SAR is measured with the device directly contacted to the body while transmitting at the highest certified output power level in all frequency bands of the mobile device.

Power Safety Requirement

Products with electrical current ratings up to 6A and weighing more than 3Kg must use approved power cords greater than or equal to: H05VV-F, 3G, 0.75mm^2 or H05VV-F, 2G, 0.75mm^2.

回収とリサイクルについて

使用済みのコンピュータ、ノートパソコン等の電子機器には、環境に悪影響を与える有害物質が含まれており、通常のゴミとして廃棄することはできません。リサイクルによって、使用済みの製品に使用されている金属部品、プラスチック部品、各コンポーネントは粉砕され新しい製品に再使用されます。また、その他のコンポーネントや部品、物質も正しく処分・処理されることで、有害物質の拡散の防止となり、環境を保護することに繋がります。

Regional notice for Singapore

Complies with
IDA Standards
DB103778

This ASUS product complies with IDA Standards.

筐体のコーティングについて

重要：感電などを防ぐため、本機は絶縁処理が施されている筐体を使用しています（入出力ポート搭載部分を除く）。

電気・電子機器に含有される化学物質の表示について

資源有効利用促進法では、JIS C 0950：2008（J-Moss）の定める規格により、製造元に対し特定の電気・電子機器に含まれる化学物質の情報提供を義務付けています。J-Moss とは、電気・電子機器に含有される化学物質の表示に関するJIS規格の略称で、正式名称は「The marking when content other than exemption does not exceed reference value of percentage content（電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法）」です。なお、この規格は2008年8月1日より適用されています。

この規格に関する詳細情報はASUSのサイト（http://csr.asus.com）に記載の「The marking when content other than exemption does not exceed reference value of percentage content（電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法）」をご参照ください。

注：コンテンツは全て英語表記です。

廃棄・リサイクルについて

バッテリーは製造元が指定する物をご使用ください。それ以外の物を使用した場合、爆発や本機の故障の原因となります。バッテリー廃棄の際は電子機器の廃棄に関する地域の条例等に従ってください。

禁止：本機のバッテリーを通常ゴミとして廃棄しないでください。廃棄の際は地域の条例等に従ってください。

本機を一般ゴミとして廃棄しないでください。本機はリサイクル可能な設計がされています。廃棄の際は電子機器の廃棄に関する地域の条例等に従ってください。

本機を火中に投じないでくださいでください。回路をショートさせないでください。本機を分解しないでください。

モデル名：K001 (ME301T)

Manufacturer:	ASUSTeK Computer Inc.
Address:	4F, No.150, LI-TE RD., PEITOU, TAIPEI 112, TAIWAN
Authorised representative in Europe:	ASUS Computer GmbH
Address:	HARKORT STR. 21-23, 40880 RATINGEN, GERMANY

EC Declaration of Conformity

We, the undersigned,

Manufacturer:	ASUSTeK COMPUTER INC.
Address, City:	4F, No. 150, LI-TE Rd., PEITOU, TAIPEI 112, TAIWAN
Country:	TAIWAN
Authorized representative in Europe:	ASUS COMPUTER GmbH
Address, City:	HARKORT STR. 21-23, 40880 RATINGEN
Country:	GERMANY

declare the following apparatus:

Product name :	**ASUS MeMO Pad**
Model name :	**K001**

conform with the essential requirements of the following directives:

☒**2004/108/EC-EMC Directive**

☒ EN 55022:2010 ☒ EN 61000-3-2:2006+A2:2009 ☐ EN 55013:2001+A1:2003+A2:2006	☒ EN 55024:2010 ☒ EN 61000-3-3:2008 ☐ EN 55020:2007+A11:2011

☒**1999/5/EC-R &TTE Directive**

☒ EN 300 328 V1.7.1(2006-10) ☒ EN 300 440-1 V1.6.1(2010-08) ☒ EN 300 440-2 V1.4.1(2010-08) ☐ EN 301 511 V9.0.2(2003-03) ☐ EN 301 908-1 V5.2.1(2011-05) ☐ EN 301 908-2 V5.2.1(2011-07) ☒ EN 301 893 V1.6.1(2011-11) ☐ EN 300 330-1 V1.7.1(2010-02) ☐ EN 300 330-2 V1.5.1(2010-02) ☒ EN 62311:2008 ☒ EN 62209-2:2010 ☒ EN 62479:2010	☒ EN 301 489-1 V1.9.2(2011-09) ☒ EN 301 489-3 V1.4.1(2002-08) ☐ EN 301 489-4 V1.4.1(2009-05) ☐ EN 301 489-7 V1.3.1(2005-11) ☐ EN 301 489-9 V1.4.1(2007-11) ☒ EN 301 489-17 V2.1.1(2009-05) ☐ EN 301 489-24 V1.5.1(2010-09) ☐ EN 302 326-2 V1.2.2(2007-06) ☐ EN 302 326-3 V1.3.1(2007-09) ☐ EN 301 357-2 V1.4.1(2008-11) ☐ EN 50385:2002 ☐ EN 62311:2008

☒**2006/95/EC-LVD Directive**

☐ EN 60950-1 / A11:2009 ☒ EN 60950-1 / A12:2011	☐ EN 60065:2002 / A2:2010 ☐ EN 60065:2002 / A12:2011

☒**2009/125/EC-ErP Directive**

☐ Regulation (EC) No. 1275/2008 ☐ Regulation (EC) No. 642/2009	☒ Regulation (EC) No. 278/2009

☒**2011/65/EU-RoHS Directive**

Ver. 121001

☒**CE marking**

(EC conformity marking)

Position : **CEO**

Name : **Jerry Shen**

Signature : __________

Declaration Date: Dec. 14, 2012

Year to begin affixing CE marking:2012